

説 明 書

1. 業務名

平成 29 年度広域観光周遊ルート形成促進事業
「外国人観光客にやさしい路線バス利用促進事業」

2. 実施時期

契約締結の日～平成 30 年 3 月 30 日

3. 業務の目的

現在、国では訪日外国人旅行者数 2020 年 4000 万人、訪日外国人旅行消費額 2020 年 8 兆円等の新たな目標を掲げ、戦略的に取り組んでいるところであり、テーマ性・ストーリー性を持った魅力ある観光地域のネットワークを強化し、訪日外国人旅行者の滞在日数にあわせた広域観光周遊ルートの形成により、訪日外国人旅行者の周遊を促進し、もって地域の活性化を図ることとしている。

本事業では、訪日外国人観光客向けに、観光・ショッピングなどの滞在時間の確保とともにバスの乗り遅れ防止などのため、路線バスの経路検索が可能となるようバス路線、ダイヤなどを提供する。具体的には、拠点地域（隠岐を除く）内の主要経路の路線バス運行データを収集・整備し GoogleMap に搭載可能なデータ作成し、簡易な方法でバスの運行状況、所要時間が把握できる手法を準備することで、訪日外国人観光客の利便性向上とバス利用者の増加を目指す。

4. 事業の内容

路線バス運行データの作成・整備

(1) 概要

主要エリアの路線バス運行に関するデータ（路線・ダイヤ・バス停の位置情報など）を収集・整備し、GoogleMap でも経路検索可能なデータを作成のうえ、掲載につきグーグル社と交渉する。

(2) 対象

拠点地域（隠岐を除く）内の主要ターミナル、空港等と主要観光地を結ぶ経路を中心とした山陰両県のバス路線の掲載。

(3) 目標 : バス路線の掲載数・・・330 路線以上。（山陰の既存バス路線の数は 400 弱）

5. 業務内容

(1) 路線バス主要事業者の路線バス運行データを取得

(2) 主要エリアの路線バス運行に関するデータ（路線・ダイヤ・バス停の位置情報など）作成

6. 報告書の提出等

(1) 提出物 事業実施完了報告書（A4 判） 4 部

(2) 提出場所 山陰インバウンド機構

(3) 提出期限 平成 30 年 3 月 30 日（金）

なお、作成に当たっては、以下について留意のこと。

① 事前に監督職員の承認を受けること。

② 事業実施状況等を分かり易く編集すること。

7. その他

- (1) 山陰インバウンド機構と十分協議しながら事業を進めること。
- (2) 事業の実施に当たっては、「Japan. Endless Discovery.」のロゴマークや「縁の道～山陰～」のロゴマークを使用するなど、国の進める事業に趣旨に沿って行うよう配慮すること。
- (3) 可能な限り日本政府観光局(JNTO)が運営する Web サイト(<http://www.jnto.go.jp/>)や山陰インバウンド機構が運営する Web サイト(<https://www.sanin-tourism.com/>)へのリンク設定、URL・QRコードの掲載などによって、インターネットでの検索やアクセスが可能な環境を整備し、各 Web サイトへの誘導に配慮すること。